

**“岡谷市仏教会主催「第40回花まつり」厳修”**  
 ～敬念寺を会所に4年ぶりに開催！～



“「讃仏偈」読誦中誕生仏に甘茶をかけてお釈迦さまの誕生を祝う (5.5.28)”



発行所  
 岡谷市郷田一丁目6番3号  
 TEL(0266)22-2524  
 金松山 敬念寺  
 発行  
 敬念寺門信徒会  
 編集  
 会報組織委員会  
 朝7時はみ仏さまや  
 彼(か)の人との  
 出会(であ)いの時間

小僧の目

環境分野で初のノーベル平和賞を受賞した、ケニア人女性ワンガリ・マータイさんが日本語の「もったいない」という言葉に出会い感銘を受け、環境を守る活動の合言葉にされました。▼環境を守る活動の三つの精神であるゴミ削減・再利用・資源化を一言で表せるだけでなく、かけがいのない地球資源に対する尊敬の念が込められているからだそうです。▼私自身は環境活動を積極的に行っているわけではないのですが、「もったいない」という思いは大切にしたいものです。▼転じて、ここ数年「断捨離」という言葉が流行っています。片付けをする考え方の一つです。ヨガの行法の断行・捨行・離行が語源で、「断ち・捨て・離れる」、所有するものを見極めて整理をしていく手段とも言えます。▼なぜこのようなことを話すかといえば、住職になり四年目を迎えておりますが、未だに家移りをした際、庫裏に運び込んだ段ボールがそのまま部屋の中にある始末なのです。▼私物に関しては迷わず断捨離をすべきことなのですが、お寺に帰属するものはそうはいきません。▼先代住職から引き継いだものや、ご門徒さんからのいただきものなどにはなかなか手が出せずに思案しております。▼考え方の質が違います、断捨離するか勿体ないと思に残すのか、現状を変えるには大きな選択をしなければなりません。▼どちらの選択をするにしても、それぞれの「もの」への感謝「ありがとう」の思いをもっていなければいけないと感じております。

釋 宏真

ご寺院  
 行事

- 8月 1日(火)～5日(土) 第41回早朝連続参拝計画中
- 8月 6日(日) 新盆合同法要 前10:00
- 8月16日(水) 孟蘭盆法要 前10:00
- 9月23日(土) 秋彼岸法要 前10:00

ご定例  
 法話会

- 7月20日(木) 講師 青木哲隆先生 (富山県)
- 8月20日(日) 講師 長野教区先生 (長野県)
- 9月20日(水) 講師 西原竜哉先生 (千葉県)
- 10月20日(金) 講師 柏倉学法先生 (千葉県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

# 令和五年度 年次総会の報告

令和五年度敬念寺門信徒会年次総会を四月二十九日(土)に開催いたしました。今回も感染予防対策に配慮の上、対面で開催いたしました。

当日は代議員であるお世話人三十六名(委任状四十三名)出席のもと議長に胡桃清志氏を選出し、議案審議が行われました。

総会に先立ち、参加者全員で、「讃仏偈」による勤行、引き続き御住職から、新任・地区世話人の紹介があり、委嘱状が手渡されました。

また、お世話人の仕事内容等について「心得三ヶ条」として鷹野原教化副委員長が説明しました。

## 議事

- 一、令和四年度事業報告
- 一、令和四年度会計報告・監査報告
- 一、令和五年度事業計画(案)
- 一、令和五年度予算(案)

★千原会長による事業報告では、引き続きの新型コロナウイルス感染症防止のために、寺院法要規模の縮小や門信徒会事業の活動制約を受けた一年となったが、懸案となっていた「新任職就任祝賀会」を挙行することができ、また前年総会

での役員人事改選を経て、新たな役員体制での門信徒会事業が開始し、門信徒各位のご理解とお世話人の協力により活動できたことに感謝の言葉がありました。

★記載の各号議事を審議の結果、すべて承認され総会の幕が閉じられました。

★最後に、ご住職から挨拶がありました。「住職就任から四年、コロナ禍で各種事業を中止・縮小してきたが、コロナ感染が落ち着いてきており、門信徒会役員やお世話人、門信徒の皆様と一緒に、教化伝道をしつかりと進めてまいりたい。また、お世話人欠員の解消に向け努力し、従前に増しての人垣が出来るようにしたい、一層のお力添えをお願いしたい。」と述べられました。

## ―世話人の異動―

四月二十九日付

**新任** よろしくお願ひします。

- 小松 幸平さん(間下ブロック)
- 伊藤 忠男さん(本町ブロック)
- 西岡 泰輔さん(本町ブロック)
- 久保村 学さん(今井ブロック)



「花まつり」(灌仏会)  
 厳修の記録

岡谷市仏教会は、五月二十八日  
 お釈迦様の誕生を祝う第四十回  
 「花まつり」(灌仏会)を、敬念寺  
 を会所に厳修しました。

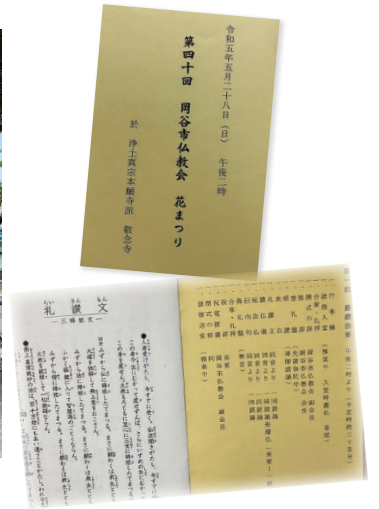
当日は、市内十四ヶ寺の僧侶や  
 門信徒、来賓など約八十人が参列  
 して法要が進み、讃仏偈が読誦さ  
 れる中「花御堂」に安置された誕  
 生仏に甘茶をささげて、厳かな内  
 にも、お釈迦様の誕生を祝う温か  
 な雰囲気厳修されました。

今回の「花まつり」は、新型コロナ  
 ナの影響で、四年ぶりの開催とな  
 り、人数制限はしなかったものの  
 稚児行列は中止となりました。  
 法要後には、記念講演が行われ  
 ました。

ご講師の、浄土真宗布教使の赤  
 川浄友先生により、「迷いから悟  
 りへ〜おかげさまの心で〜」と題  
 して、宗派の枠を超えた内容のご  
 講話を聞かせていただきました。  
 笑い療法士でもある赤川先生の  
 ご講話に参拝者一同、笑ったり、う  
 なずいたりし、また、講話の最後  
 には、赤川先生のピアノ伴奏で  
 「糸」「涙そうそう」「夕焼け小焼  
 け」の歌を歌うなど、心に残る「花  
 まつり」の法要となったことと思  
 います。



(法要中の本堂のようす)



(法要後会館講堂で湯茶を接待)



(「花御堂」の誕生仏に灌仏する)



(赤川先生のピアノ伴奏で歌を)



(赤川浄友先生のご講話)



# トピックス

## 会館窓ガラスの清掃実施！

五月二十八日に当山で行われる「花まつり」を前に、今まで手が回らなかつた、会館の窓ガラスの清掃を業者に依頼して実施し、綺麗な会館で参拝者を迎える準備ができました。



(5.5.18)



門信徒会年次総会のごようす (5.4.29)



新任のお世話人を委嘱 (5.4.29)



婦人部総会のごようす (5.5.12)

八月末日までに！

### 門信徒会費と 護寺協力金のお願い

今年も寺の維持管理の資金、更なる教化活動の振興のため、会費と護寺協力金をお願いに担当のお世話人が近日中にお伺いしますが、ご協力の程お願いします。

#### ○ご依頼額は

年間三千円以上

※以上分が「護寺協力金」となります。

今年も！

## — 「護寺協力金」について御礼とお願い —

財務基盤強化の一環として平成28年度に「**護寺協力金**」が新設されています。(今年で8年目となります。)

お世話人を通じ(市外の方は郵送書面でのお願いにより)、年度会費3千円徴収依頼の際にご協力をお願いしておりますが、お陰様で皆様のご理解・ご協力により広く定着し、財務健全化につながっております。【昨年度も76万円余のご協力を頂きました。】

(従来からご依頼額は3千円以上となっており、「会費3千円」の**以上分の浄財を「護寺協力金」**に充てています。)

この浄財は、全額「護寺基本金」に積み立てて、大規模営繕・大規模法要等の費用に備えています。

**今年も、担当のお世話人がお伺いした折及び郵送便到着後に、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。**